



西新潟中央病院

NST NEWS 第63号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2019年7月2日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線1304

NSTミニレクチャー第38回 ～VF・VEって何？～

食べることは、とても複雑な喉の動きによって行われています。そのため、病気や加齢などにより、喉の動きが悪くなると、ご飯を食べるときにむせたり、時には窒息や肺炎など命に関わる病気になる恐れがあります。そのような際は、喉の動きを詳しく調べる検査が必要です。

ごはんを食べる時の喉の動きをみる検査は、大きく分けて2つあります。

1つは、レントゲンを使いながらバリウムを入れた食べ物を飲んでもらう**嚥下造影検査(VF)**という方法。もう1つは鼻から内視鏡を入れて実際に食べているものを飲んで直接嚥下するところを診るとい**嚥下内視鏡検査(VE)**という方法です。当院では従来の嚥下造影検査に加えて、2018年9月から新潟大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科教室の馬場先生がお越しくださり、嚥下内視鏡検査も実施できるようになりました。

嚥下造影検査(VF)と嚥下内視鏡検査(VE)を組み合わせることで、より細かな喉の動きが分析でき、正しい食事姿勢や適切な食事形態を評価することができます。もし、患者さんでご飯を食べているとむせてしまう、嚥下機能で心配な方がいましたら、病棟の言語聴覚士(ST)さんにぜひご相談ください。実際の検査で映像を見てみると、今まで平面的に捉えていた嚥下の動きが立体的な視点で評価することができ、理解が深まりました。これを機にNST・摂食嚥下について学んではいかがですか。

摂食・嚥下障害のサインは全身から！

★このような患者さんがいましたら ST さんにご相談ください

- 1. ひどくやせていないか？
- 2. 目が覚めているかどうか？
- 3. 声は出るか？
- 4. 痰はたくさんでているか？
- 5. 口の衛生状態は？
- 6. 口が異常に乾燥していないか？
- 7. のど仏が下がっていないか？
- 8. 呼吸の状態は？
- 9. 首の筋肉の状態は？
- 10. 首は動くか？
- 11. 猫背か？

※項目をクリックすると それぞれの解説にリンクします。

横大塚製薬工場ホームページ：引用：監修日本大学歯学部摂食機能療法学口座准教授 戸原玄先生



VE 検査の様子

お知らせ

2019年9月6日(金)7日(土) 朱鷺メッセにて
第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
があります。一緒に参加しませんか★



《文責：2病棟看護師 佐藤尚子》